

2 学期の生活・学習 そして進路、推薦について

3年の2学期は進路希望先の選択をする重要な時期です。君達は自分の進路を選ぶとともに、入試・受験においては**選ばれる立場**になります。高等学校などの先生方が**大人の目**で選び決めていくことになります。大人の目や立場で中学生を見ると、どんな生徒を合格させようと思うかは容易に想像がつくことでしょう。

四中生には皆合格してほしいと思いますし、そのためには指導や注意すべきことをきちんとしてあげたいと思います。このことは特に**推薦**受験の際は大きく問われてきます。推薦とは「**よいと思う人や物を他人にすすめること**」です。どの先生からも認められ、校長先生によって素晴らしい生徒だと人物を保証されることを皆がめざして欲しいと思います。次に掲げることについて自分自身を振り返り、見つめてみましょう。もし不十分なことがある人はすぐに改善してください。皆さんの取り組みや努力をこれからじっくりと見ていきたいと思います。今が、これからが、どういう状況になっているかが重要です。**今が、日常**が問われています。

・ 遅刻をしないなど時間を守ることができる。

8時には教室に入室するよう心がけよう。チャイム前着席も引き続き意識しよう。

・ 欠席については各学校の規定（基準）通り。

(例) 3年間で30日以内 / 20日未満 / 各学年10日以内 / 皆勤(欠席・遅刻・早退無し)を評価。
欠席日数を問わない学校も。一般的に欠席は少ない方が良いが、学校によって異なる。

・ 服装や頭髪、つめ等がきちんとしている。

外見、見た目は大事です。初対面の人は皆、まずは外見から人を判断します。

・ 清掃や当番活動をきちんとしている。

自分達が使っている所をきれいにしたり、奉仕的な活動を行うことは大切です。清掃はその人の人間性にもかかわると思います

・ 授業にしっかりと取り組んでいる。

授業前の休み時間に授業準備を行おう。授業中しっかりと学習しよう。忘れ物、居眠り、私語が続くようではいけません。

・ 提出物をきちんと提出している。

教科・授業はもちろん、進路関係の提出物も大事です。

・ 校則や指導に従い、法令を守って生活・行動できる。 他人と協力でき、迷惑をかけない。

不要物も含め

● わかってほしいこと、知っておいてほしいこと

引退後の部活動 基本は部活には出ない。公立入試で実技検査がある人や、私立の部活・スポーツ推薦で、練習会に参加することが可否にかかわる場合は、許可を得て部活動に限定的に参加することができます。	進路情報収集の機会 文化祭 9月中が多い(ピーク)。10～11月も。 秋の公立体験入学 10～11月が多い。 私立学校説明会 10～12月が中心。 体育祭やバザーの代休(平日)は見学のねらい目です。
高校出前授業 高校の先生が四中にいられて、高校入門授業をします。6教科の中から2教科選んで授業を受けます。	第3回実力テスト 10/1(水)。4週間後です。出題範囲は近日中に「道標14号」で発表します。
進路希望の決定時期 11/5～14の三者面談で。 私立は11月中。 公立は11月～12月。	私立の決め方 入試相談あり：内申点や実力テスト、模擬テストなど 入試相談なし：実力テスト、模擬テスト、過去問重要